



Library NEWS

～図書館だより～

令和3年度 晃陽中学校図書館



だんだんと秋が深まり、朝晩はだいぶ寒くなってきました。冷たい北風が吹くころ、ふっと暖くなる日のことを「小春日和」といいます。読書の季節ですね。

おはなし給食

みなさんお味はどうでしたか？物語とコラボした給食のメニューが出ました。
篠井小と富屋小でも同じメニューでした。ぜひ本も読んでみてください。

『パンどろぼう』『にくのくに』から
チキンカツサンド

『やきそばばんばん』から
やきそば

『オルタネート』から
とうもろこしご飯



新着図書





..... おすすめの本

2021.11



「倒産続きの彼女」 新川 帆立 著 宝島社 321p

美馬玉子と同じ弁護士事務所で働く剣持麗子はコンビを組み「会社を倒産に導く女」と内部通報されたゴーラム商会経理課・近藤まりあの身辺調査を行うことに。彼女が転職するたび、企業は必ず倒産する。なぜ？ところが調査を進めるなか、死体を発見してしまい、予想外の事件に巻き込まれていく。「逃げるな！生きて働け！」美馬玉子のあの叫びに、ドキッとした。ジェットコースターのようなミステリー。『このミステリーがすごい！』大賞受賞「元彼の遺言状」の続編。



「花束は毒」 織守 きょうや 著 文藝春秋 293p

「結婚をやめろ」との手紙に怯える元医学生^{おび}の真壁。彼には、脅迫者を追及できない理由があった。そんな真壁を助けたい木瀬^{ついきゅう}は、探偵に調査を依頼する。探偵・北見理花と木瀬の出会いは中学生の時。北見理花は探偵見習いで生徒たちの依頼を請け、中学生の時から問題を解決してしまう頼もしい先輩だった。真壁を脅迫しているのは一体誰で、何の目的があるのか。最後のどんでん返しは衝撃的。これは怖い。最後に読者に^{ゆた}委ねられる選択。感想をぜひ教えてほしい。



「くらべる世界」 おかべ たかし 著 東京書籍 176p

「くらべるシリーズ」「目でみるシリーズ」がおもしろい。レンガの積み方の違い、イギリス積みとフランス積み。じゃんけん、日本はグー・チョキ・パーの3種類だが、フランスのじゃんけんは、なんと4種類を出す(表紙)。ポッキーも、タイとアメリカで味の違いがあるらしいが同じに見えて面白い。大きな写真で説明があり、とてもわかりやすく、勉強にもなる。「ヘー！」と言ってしまう興味深い本。



「ぼく モグラ キツネ 馬」 チャーリー・マッケジー 著 飛鳥新社

最初のページを開くと「どこから読んでもかまわない」と書かれている。少年とモグラ、キツネ、馬の、冒険と心の交流が描かれている。「名言」がたくさん。何度も読みたくなる。あたたかみのある手書きの文字と優しく繊細なイラスト。文章も優しくて心にしみる。ありのままの自分を受け入れてくれて、そっと背中を押してくれる。読み終わると、ホッとした気持ちになるアート絵本。

..... 予約できます。